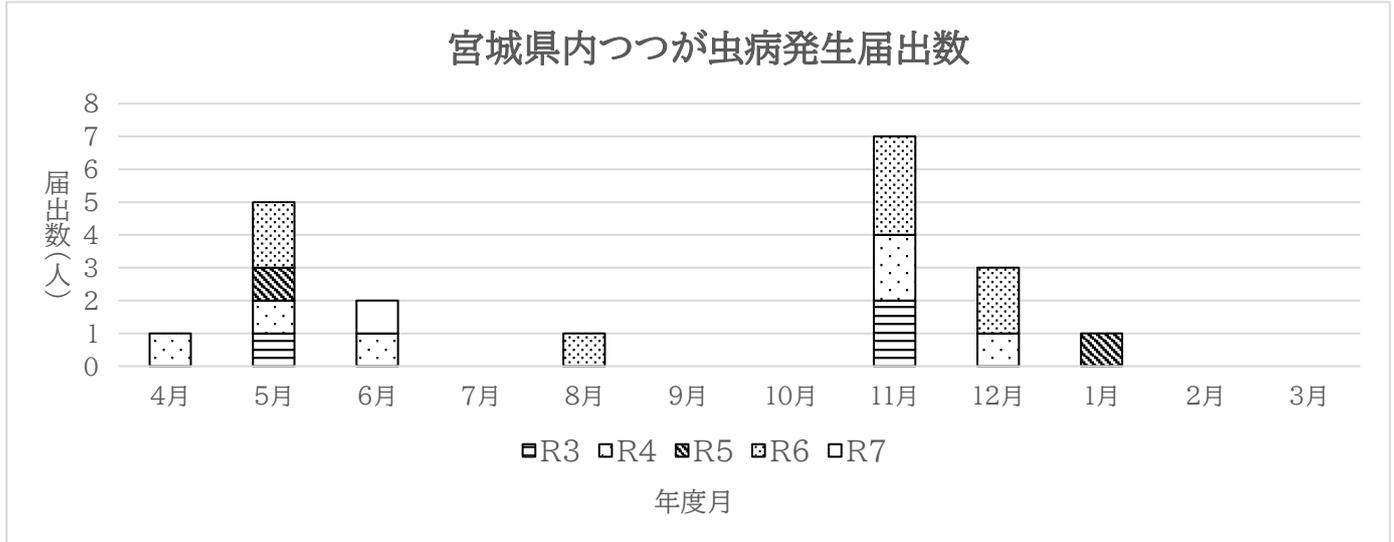


## つつが虫病について【注意喚起】

県内において、今年度初発となるダニ媒介感染症である「つつが虫病」の発生がありました。今後、野外作業や農作業、レジャー等でダニ類が生息する山林や河原、畑に立ち入る場合には、なるべく素肌を出さないよう長袖・長ズボンの着用や虫除け剤の使用によりダニに刺されないように心がけていただくようお願いします。



### ～つつが虫病とは～

流行時期:全国的に2つの発生ピーク(春～初夏、秋～初冬)があります。  
東北地方では、一部のツツガムシが越冬し、融雪とともに活動を再開するため、春から初夏にかけて多く発生します。

潜伏期間:5～14日

症状:全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱等の症状が現れます。  
数日後より体幹部分を中心に発疹が現れ、リンパ節の腫れを伴うこともあります。

感染経路:リケッチアという病原体を有しているツツガムシに刺されることによって感染します。  
ヒトからヒトへの感染はありません。

### ～予防のポイント～

- ・予防接種はありません。
- ・長靴や手袋、長袖を着用する等、素肌を出さないようにしましょう。
- ・補助的に虫除け剤の使用も有効とされていますので、適宜活用してください。
- ・草むらに直接座らないようにしましょう。
- ・帰宅したら入浴し、浴室の中で体の皮膚(特に内また等のやわらかいところ)をなでてみて、トゲが刺さったような感じがするところがないか確認しましょう。
- ・脱いだものは全て洗濯しましょう。

### ～ダニに刺された場合～

- ・無理に引き剥がそうとするとダニの体液が逆流してしまうため、早めに医療機関(皮膚科)へ受診し、処置(ダニの除去・洗浄等)をしてもらいましょう。
- ・刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が出た場合は、直ちに医療機関(内科等)を受診しましょう。その際、ダニに刺されたことを医師に伝えてください。

【参考】つつが虫病(国立健康危機管理研究機構)

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/Scrub-Typhus/010/tsutsugamushi.html>

【参考】ダニ等が媒介する感染症に注意しましょう(宮城県ホームページ)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/danibaikai.html>

森・草むら・河川などに  
生息しています



ツツガムシ  
拡大イメージ

# ツツガムシ病

(ダニ媒介感染症)に  
ご注意ください!

宮城県では、春と秋にツツガムシ病の報告があります。  
治療が遅れると重症化する場合があります。

## 予防のポイント

ツツガムシ (ダニ) の吸着を防ぐことが最も重要です。

## 効果的な対策

### 虫よけ剤を正しく使う



腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。  
顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。  
塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

※ツツガムシの忌避にはディート30%の医薬品の虫よけ剤をお使いください。

### 肌を露出しない服装



## ダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶ダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。

宮城県 × EARTH アース製薬

最新情報はこちら  
宮城県感染症情報 ▶



☎ 022-211-2632 宮城県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全安心で健康な暮らしに関する取り組みを進めています。